



避難訓練

東海ガスケット工業株式会社

11月5日、気象庁が配信する訓練用『緊急地震速報』に併せて避難訓練を実施しました。弊社の生産拠点は本社工場(豊田市青木町)、及び亀首工場(豊田市亀首町)の2拠点が有り、例年秋頃に気象庁が配信する『緊急地震速報の訓練』に併せ両工場において避難訓練を行っております。

避難訓練では、「緊急地震速報受信機の機器が正常に受信・作動し、工場内への放送が確実に行なわれているか」をはじめ、放送後は「第1に身を守る(人命第一)」。揺れが収まってきたら速やかに避難場所への避難開始」を重点に取り組んでおります。訓練実施後においては、避難経路での危険個所の洗い出し、問題点の抽出を行い改善に努めております。津波に対しては両工場の立地場所が共に海拔90m前後に位置していることから、幸いなことに海岸部とは違い津波の危険性は有りません。

また、本社工場においては築40年ほどの建屋があり、消火栓の設備が無い為、防火水槽を設け、そこから動力ポンプを用いての放水訓練を行っております。

東海・東南海地震の発生の可能性が取りざたされる中、弊社においても緊急時に行動できるよう訓練を行い、万が一の状況に備えていきたいと思っております。

■机の下に身を隠す



■避難場所へ



■指定避難場所



■放水訓練（本社工場）

